

【別紙様式】 特定事業者支援事業に関する公表様式

中札内村は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、以下の事業を実施します。

事業名	臨時価格高騰対策小麦収穫機導入補助事業		
総事業費 (千円)	20,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	20,000千円
事業概要	<p>①目的 小麦コンバインの価格が6年前と比べて2千万円ほど高騰しており、JA中札内村の機械導入に係る価格高騰分を補助することで、農業者の負担軽減及び農業基盤の維持と地域の生産性向上（適期収穫及び収穫体制の効率化）を図る。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 JA中札内村の小麦コンバイン導入事業に対する補助金 事業費60,000千円×補助率1/3=20,000千円（上限）</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 JA中札内村 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 村内唯一の農業協同組合であり、ほぼすべての農業者が組合員となっているJA中札内村を交付対象とし、その運営を支援することは、村内全体の農業者の負担軽減及び農業基盤の維持と地域の生産性向上につながる。</p> <p>④期待される効果 物価高騰の影響下においても、JA中札内村が安定して運営されることにより村の基幹産業である農業の生産体系（輪作体系）が維持され、農業者の生活の安定が確保される。</p>		
物価高の克服（経済対策）との関係	<p>村内の小麦の作付面積及び単位収量が伸びているなかで、適期に収穫作業を行うためにはより高性能な小麦コンバインの導入が急務であるが、昨今の物価高騰により価格が高騰しており、この6年で2千万円ほど値上げしている。</p> <p>JA中札内村は村内ほぼすべての農業者が組合員となっており、各農家の小麦の収穫時期を見極めてJA所有のコンバインで収穫している。JA中札内村の小麦コンバイン導入に係る価格高騰分を補助することは、村内全体の農業者の負担軽減及び農業基盤の維持と地域の生産性向上につながるため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		